

令和四年度 篠ノ井高校(全日制) 学校評価表

22 篠ノ井高等学校(全日制)

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 教育目標 | ①真理と学問を愛し、高い知性と豊かな教養を身につけた人の育成  |
|      | ②進歩と向上を信じ、小成に甘んぜず、絶えず理想をめざす人の育成 |
|      | ③精神と身体を鍛え、明朗で積極性のある人の育成         |
|      | ④自主と自律を尊び、常に計画性を持ち、節度のある人の育成    |
|      | ⑤勤労と責任を重んじ、堅実にして協調性のある人の育成      |

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 中期目標 | ①自主性・責任感を育てる                 |
|      | ②授業を中心にして学力の伸長を図る            |
|      | ③進路目標を明確にさせ、その実現を図る          |
|      | ④クラブ活動、委員会活動の充実を図る           |
|      | ⑤様々な活動を通して、生徒のより豊かな心と人間性を育てる |

|          | 評価項目                       | 評価の観点                                    | 評価の材料  | 担当分掌                     | 中間評価  |
|----------|----------------------------|--|--|--------------------------|---|
| 今年度の重点目標 | ①いじめ・体罰のない安心・安全な学校づくりの推進   | いじめ・体罰の早期発見、早期対応ができたか。                   | ・いじめアンケートの実施と組織での対応  | 生徒指導係、学年                 | ・5月の学校生活アンケートの実施とアンケート結果に基づく面談週間での個人面談と学年会での情報交換  |
|          |                            | 人権意識の高揚に努めたか。                            | ・人権教育映画鑑賞、職員人権研修会の開催   | 人権教育係                    | 9月に職員人権研修を行った。(菅谷昭さんのチェルノブイリ原発事故後の医療支援活動を番組にしたDVDを視聴)   |
|          |                            | 生徒一人ひとりの情報を共有し、組織的な対応ができたか。              | ・個々の生徒に対する支援計画の立案、支援会議の開催<br>・情報の共有  | 相談係、学年                   | 学年会での情報共有を大切にし、さらに相談委員会で各学年の情報共有を行っている。支援会議の結果、必要な情報の全職員の共通理解に努めている。また、アセス(学校生活に関するアンケート)を行い、生活満足感、学習の適応、対人適応などの側面から生徒の状況把握と対応の共有を行った。  |
|          | ②健康で健全な基本的生活習慣の確立の支援       | 交通安全の徹底、特に、自転車事故減少に努めたか。                 | ・交通安全指導、交通事故件数の経年比較  | 生徒指導係                    | ・4月の矢嶋夫妻の交通安全講話の実施、4月・9月の交通安全指導の実施、交通事故の経年比較<br>・登校途中に自転車単独事故が2件あり当事者への個別対応とクラス毎に担任からの注意喚起を行った。(1年)   |
|          |                            | 生徒の生活習慣の把握に努め、その結果を職員で共有し、個々の生徒の支援を行ったか。 | ・スタディーサポート、アンケート実施、面談の定期的な実施   | 進路探究係、学年                 | ・各学年、例年どおり定期的に実施した。   |
|          |                            | スマホ利用に対し、適切な指導ができたか。                     | ・スマホ使用規定作成、徹底<br>・研修等の実施<br>・保護者の意識醸成  | 生徒指導係、生徒会係、学年            | ・スマホの安全な使用の仕方の講演会(1学年)、校内喚起<br>・スマホの利用に関して県警スクールサポーターの講話を生徒に行い管理及び不適切な利用をなくすよう日常的な注意喚起と指導。必要に応じて保護者懇談会でも話題にし保護者にも理解と協力を求めた。   |
|          | ③「主体的・対話的で深い学び」の実践と進路指導の充実 | 家庭学習時間の確保に努めたか。                          | ・学習実態調査と結果の分析・改善に向けての検討<br>・経年比較<br>・教科課題の精選   | 進路探究係、学年、各教科             | 学年の係を中心に分析をおこなっている。学習習慣の身につけていない者、不十分な者が一定数認められる。進路説明会やオンライン・イベント等への参加を通して、進路に対する意識の向上を図るとともに、総合的な探究での活動の一環として自己の内面や生活の振り返りを実施している。   |
|          |                            | 自主的・探究的に学ぶ姿勢の育成に努めたか。                    | ・「主体的・対話的で深い学び」の導入<br>・キャリア教育への参加状況・進路行事への参加状況<br>・探究学習の取り組み状況、探究的行事への参加状況           | 各教科<br>学年(進路探究担当)<br>生徒会 | ・夢ナビライブへの参加を通して生徒たちの進路意識が高まった。また多くの生徒が自主的にインターンシップに参加した。また「地域まるごとキャンパス」など創造的なボランティアに取り組んでいる生徒が多い。(2年)<br>・校外進路学習「上級学校説明会」参加(7月)およびオンラインでの大学講義の視聴を通し自己のキャリア形成への意識を高めさせた。また、授業の内外においてタブレット学習も併用し、学習意欲の向上に努めている。(1年) |
|          |                            | 職員の研修、スキルアップに努めたか。                       | ・校内授業研修 ・職員進路研修会 ・研修会への参加  | 教頭、教務係、進路探究係             | ・専門のテキストを使用して、次の時代に求められる人の力について講義・グループワークによって学んだ。(1年)   |
|          |                            | 高大接続改革に向けて必要な資質・能力を身につけさせることができたか。       | ・高大接続改革の研究 ・共通テストへの対応状況<br>・大学出前講座等の利用、大学アドミッションポリシー等の理解と情報の提供                       | 進路探究係、教務係                | ・県教委主催の「学習評価」の研修会を2回実施した。また、後期はICT関係で「ロイノート」の研修会を2回実施予定である。   |
|          |                            | 「主権者教育」「信州学」を有効に取り入れたか。                  | ・各教科の授業での取り組み<br>・探究学習、LHRでの取り組み   | 学年、各教科                   | ・探究活動を通して育成を図る。<br>・共通テストへの対応は授業・補習・特変授業など機会をとらえて実施   |
|          | ④クラブ活動・生徒会活動の充実            | 進路指導方針を共有し教科間連携による効果的な学習指導ができたか。         | ・補習計画の立案、参加状況・共通テスト受験者数の経年比較<br>・授業アンケート、学校アンケートの満足状況 ・教科間連携の計画<br>・大学合格状況、特進クラス合格状況 | 進路探究係、学年、教科              | ・篠ノ井地区の活性化策を「問い」に立て、フィールドワークをおこなって実際に現場を視察し、その解決策を考案、課題も浮き彫りにした。(1学年)   |
|          |                            | 自主性と協調性を育てるクラブ活動・生徒会活動の支援ができたか。          | ・クラブ加入状況 ・クラブ顧問会での情報交換<br>・文化祭への取り組み状況・委員会の活動状況、規範意識の醸成状況                            | 生徒会係、クラブ顧問会              | ・朝と放課後(月)～(金)の希望者補習を各教科で実施(3年)<br>・懇談会期間中および夏休みを使って補習を行った。(2年)<br>・夏休みの希望者補習は、3教科とも30名を超える申込があった。演習を中心に実施し、参加生徒は熱心に学習に取り組んだが、後期2日間はコロナ感染拡大防止のため中止となった。(1年)  |
|          |                            | 部活動と学業の両立を支援できたか。                        | ・クラブ指導のあり方、クラブ活動の総時間数検討<br>・学校アンケートへの意見の状況   |                          | ・文化部の人数がやや減少したが、部活加入状況はほぼ平年並みといえる。文化祭では感染症対策を取りつつ久しぶりの一般公開を行った。生徒会役員を中心に、生徒たちが自主的に考え準備を進めることができた。<br><br>コロナの影響を受け、感染状況を見ながらの活動となった。  |
|          | ⑤開かれた学校づくり                 | 地域への情報発信に努め、地域行事への参加や地域人材の活用を推進したか       | ・地域行事への参加、地域人材の活用状況<br>・小中学校の公開授業への参加状況、中学校への説明会実施                                   | 教務係、生徒会係、PTA同窓会係、各教科     | ・生徒会が主体となり、PTAのご協力をいただきながら「生徒自ら行う学習環境整備事業」を実施した。<br>・5月21日(土)の公開授業には保護者77名、8月4日(木)の体験授業には中学生・保護者合わせて627名の参加があった。体験入学は午前と午後の実施により、過去5年間の中では最多の参加者であった。   |